

【社会科】での活用事例

(小学校第4学年)

【活用した資料】

- 小学校版「心しなやかに」p.32～p.33 第一章 「東京のアルバム 玉川上水」
- 小学校版「心しなやかに」p.70～p.77 第二章 「江戸の人々のために ー玉川兄弟ー」

【学習指導要領に示されている道德の内容】

- 4ー(5)「郷土の伝統と文化を大切に、郷土を愛する心をもつ。」

○ 社会科「郷土の人々の生活の向上に尽くした先人の働き」の学習の導入として

はじめに、『心しなやかに』p.32～p.33「東京のアルバム 玉川上水」の写真を見せ、感想を自由に発表させました。そして、「きれい」、「気持ちよさそう」、「昔から親しまれている」など、玉川上水の美しさや地域の人々に親しまれていることを捉えさせました。さらに、自然の川と思ったという感想が多かったので、玉川上水は人工の川であることを伝えてから、社会科の「郷土の人々の生活の向上に尽くした先人の働き」で玉川兄弟を取り上げた内容についての学習に入りました。「美しい上水がなぜつくられたのかを考えたい」、「どのようにして上水をつくり上げたのか調べてみたい」など、自ら課題をもって意欲的に学習に取り組むことができました。

また、玉川兄弟が玉川上水を完成させるまでに様々な苦勞を重ねたことについて学習した後に、『心しなやかに』p.70～p.77「江戸の人々のために ー玉川兄弟ー」を取り上げて指導しました。自分たちの生活や郷土との関わりを考えながら、先人の生き方について学ぶことができました。

○ 東京都の大きな地図や写真を掲示して

黒板に東京都の大きな地図を掲示して、「東京のアルバム 玉川上水」の写真を拡大したものを感想が出た順に示し、写真の場所を地図上で確認しました。今の羽村取水堰や玉川上水のよさをまとめながら、江戸時代に上水の恩恵を受けた地域を考えさせました。また、現在と違って、どのような有用性があったのかも考えて発表し合いました。東京のよさを感じ取らせるとともに、玉川上水への興味・関心を高め、また、郷土の発展に尽くすことの意義についても考えさせることができました。